

ちょっと先の未来

意識を持ってもらうことが大事

私は税務署の徴収部門に配属された後、初めての人事異動で国税局の「集中電話催告センター室」に異動しました。

徴収部門の仕事は、税金を納められない納税者から事情を聞き、一緒に納付計画を立てたり、適用できる制度はないか検討したり、最終的には「完納」してもらうことを目的とする仕事です。

現在勤務している「集中電話催告センター室」では、長期に渡り滞納とならないよう、納税者に電話連絡し納税を促す業務をしています。

滞納となっている納税者の中には、納付に関する制度を知らず困っていた納税者も多いため、国税庁のホームページに誘導し制度説明をすることもあります。「丁寧な説明をありがとう。」とお礼を言ってもらい納付してもらえた時は、「よかった」とうれしい気持ちになります。



「徴収＝差押え」ではありません！



私の仕事
「納税者に自発的に納税する意識を持ってもらう」こと

想像以上に多くの経験ができる

1年目から多くの納付相談に携わることで、様々な立場・年齢・業種の方と話す機会があります。自分の知らない世界で働く人と話せることは、その仕事に関する様々な知識を身に付けることができる貴重な機会です。

税務の職場は実務で様々な知識を身に付けられるほか、研修制度が充実している環境であることも、おススメするポイントです！

今後、語学の研修を通じてスキルアップし、国際関連の部署で勤務したいなあと思っています。